

## 【表紙】

|            |                                    |
|------------|------------------------------------|
| 【提出書類】     | 四半期報告書                             |
| 【根拠条文】     | 金融商品取引法第24条の4の7第1項                 |
| 【提出先】      | 関東財務局長                             |
| 【提出日】      | 平成24年12月14日                        |
| 【四半期会計期間】  | 第116期第3四半期（自平成24年8月1日至平成24年10月31日） |
| 【会社名】      | 株式会社ナイガイ                           |
| 【英訳名】      | NAIGAI CO., LTD.                   |
| 【代表者の役職氏名】 | 取締役社長 泉 潔                          |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都台東区柳橋二丁目19番6号                   |
| 【電話番号】     | 東京(03)5822 - 3810                  |
| 【事務連絡者氏名】  | 取締役管理部門担当 市原 聡                     |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都台東区柳橋二丁目19番6号                   |
| 【電話番号】     | 東京(03)5822 - 3810                  |
| 【事務連絡者氏名】  | 取締役管理部門担当 市原 聡                     |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所<br>(東京都中央区日本橋兜町2番1号)   |

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

| 回次                              | 第115期<br>第3四半期連結<br>累計期間           | 第116期<br>第3四半期連結<br>累計期間           | 第115期                             |
|---------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間                            | 自平成23年<br>2月1日<br>至平成23年<br>10月31日 | 自平成24年<br>2月1日<br>至平成24年<br>10月31日 | 自平成23年<br>2月1日<br>至平成24年<br>1月31日 |
| 売上高(百万円)                        | 12,662                             | 12,279                             | 18,133                            |
| 経常利益(百万円)                       | 51                                 | 24                                 | 116                               |
| 四半期(当期)純利益(百万円)                 | 14                                 | 3                                  | 76                                |
| 四半期包括利益又は包括利益<br>(百万円)          | 152                                | 19                                 | 59                                |
| 純資産額(百万円)                       | 6,817                              | 6,896                              | 6,908                             |
| 総資産額(百万円)                       | 12,603                             | 13,240                             | 12,493                            |
| 1株当たり四半期(当期)純利益<br>金額(円)        | 0.20                               | 0.05                               | 1.03                              |
| 潜在株式調整後1株当たり<br>四半期(当期)純利益金額(円) |                                    |                                    |                                   |
| 自己資本比率(%)                       | 54.0                               | 52.0                               | 55.2                              |

| 回次                   | 第115期<br>第3四半期連結<br>会計期間           | 第116期<br>第3四半期連結<br>会計期間           |
|----------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 会計期間                 | 自平成23年<br>8月1日<br>至平成23年<br>10月31日 | 自平成24年<br>8月1日<br>至平成24年<br>10月31日 |
| 1株当たり四半期純利益金額<br>(円) | 2.08                               | 0.84                               |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。
4. 第115期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、重要な関係会社の異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

- (1) 当第3四半期連結累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある新たな事項は発生していません。
- (2) 前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。
- (3) 提出会社が将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況その他提出会社の経営に重要な影響を及ぼす事象は、次のとおりであります。

当社グループは、前連結会計年度におきまして、経営合理化策が概ね完了し、営業利益の黒字化を果たすことができましたが、子会社の株式会社ナイガイ・イムの売上拡大に伴う在庫の急増により、収支バランスが悪化したことから、連結キャッシュ・フローがマイナスとなりました。

当連結会計年度は、株式会社ナイガイ・イムにおいて、展開ブランドの集約、SCMの再構築、在庫の削減を軸とした事業の抜本的改革を実施し、連結キャッシュ・フローの黒字化を計画しております。

当第3四半期連結会計期間末における資金ポジションから判断いたしましても、継続企業の前提に関する重要な不確実性はないと判断しております。

なお、諸施策の内容につきましては、「3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」の「(5) 事業等のリスクに記載した重要事象等についての分析・検討内容及び解消、改善するための対応策」に記載しております。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績に関する分析

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、復興需要等が下支えとなったものの、国内外で混迷を続ける経済環境の影響などから、企業の設備投資額は減少、さらに消費マインドの悪化により個人消費額も減少するなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。

衣料品業界におきましても、厳しさを増す消費環境に加えて、春から初夏にかけての天候不順、8月以降も長引く残暑などが響き、依然として厳しい状況で推移しております。

こうした中、当社グループは第3四半期以降も、引き続き、期初に掲げましたレグウェアを中心とする卸売り事業の収益力改善、通信販売事業におけるインターネット通販の売り上げ拡大、テレビ通販の構造改革の諸施策に着実に取り組んでおり、グループ全体としては、テレビ通販事業の減収減益影響を織り込んだ結果、売上、利益とも前年同期実績を下回るものの、計画に対しては概ね予定通りの進捗となっております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、12,279百万円（前年同期比3.0%減）、営業利益は47百万円（前年同期比56.6%減）、経常利益は24百万円（前年同期比51.9%減）、四半期純利益は3百万円（前年同期比75.8%減）となりました。

セグメント別の業績概要は以下の通りです。

#### (卸売り事業)

レグウェア事業の状況につきまして、各販路とも長引く残暑の影響で、夏物の販売は比較的好調だったものの、秋冬物の立ち上がりはずれ込むなどで、10月中旬までは総じて苦戦が続きました。

百貨店紳士靴下の秋冬商材については、残暑の影響で本格的な販売が10月までずれ込み苦戦したものの、涼感素材を中心とした夏物プロパーが、ショート丈、スポーツ商材、ペッズスタイルを中心に前年を上回り、全体としては概ね予測範囲での販売推移となりました。一方、百貨店婦人靴下は、市場全体ではプレーンパンストが好調だったものの、当社主力の秋冬物ミセスソックス、柄タイツが夏物セールに押され苦戦、残暑対策で投入したスニーカーソックスも健闘はしましたが、秋冬物の立ち上がり遅れをカバーするには至らず、全体としては計画を下回る販売状況で推移しました。

量販店販路でも同じく秋冬物の投入は大幅にずれ込んだものの、大手GMSと取組んだPB販売はほぼ予定通りの進捗、さらに紳士靴下ではクール系機能商材、ショート丈ソックス、婦人靴下でもレース、フットカバーなどが牽引したことなどから、販路全体では概ね計画通りの販売を達成することができました。

専門店販路は、パンストなどが牽引材料となったものの、その他ソックス類の販売は特筆すべき売れ筋アイテムもなく低調に推移するも、秋冬物の先行投入等が寄与して概ね計画販売レベルを維持しました。

その他卸売り事業の株式会社NAP、ロンデックス、OEM、輸出、海外子会社の各事業については概ね計画通りの進捗で推移いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間での卸売り事業全体の売上高は9,374百万円（前年同期比2.2%減）、営業利益については、物流部門の共同配送事業開始に関わる初期コスト増の影響を含み182百万円（前年同期比11.3%減）となりました。

#### （通信販売事業）

テレビ通販を主体とする株式会社ナイガイ・イムは、8月以降、売上に関しては、主力ブランドが順調に推移し、減収とはなりませんが概ね計画通り、損益につきましても、大幅な経費削減策が寄与し、計画を上回る推移となっております。また、課題の在庫販売に関しても、セール番組の獲得、WEB販売の強化により、ほぼ計画通りに消化をしております。期初より取り組んでおります事業構造改革は概ね計画通りに進んでおります。

インターネットショッピングを展開するセンチーレワン株式会社は、バッグ販売、レグウェア販売ともに前年を大きく上回り、27.7%の増収となりました。また販売費など経費の効率的運用により、営業利益では前年および計画を上回る結果となりました。好調なレグウェア販売では新商品のメンズストッキングがヒットしており、今後益々販売増が見込まれています。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間での通信販売事業全体の売上高はテレビ通販事業の構造改革に伴う計画を織り込み3,012百万円（前年同期比12.8%減）、営業損失は132百万円（前年同期は90百万円の損失）となりました。

#### （2）財政状態に関する分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に対して747百万円増加し、13,240百万円となりました。流動資産では、現金及び預金が370百万円増加し、受取手形及び売掛金が199百万円減少、商品及び製品が645百万円増加しました。固定資産では、有形固定資産がハードウェア機器等の増加により44百万円、無形固定資産がソフトウェア等の増加により68百万円増加し、投資有価証券が時価の下落により47百万円、その他が営業保証金の返還等で43百万円減少しました。

負債は、前連結会計年度末に対して760百万円増加し、6,344百万円となりました。支払手形及び買掛金が125百万円、短期借入金が601百万円それぞれ増加し、返品調整引当金が131百万円減少しました。

純資産につきましては、四半期純利益3百万円とその他有価証券評価差額金及び為替換算調整勘定の減少17百万円等により、前連結会計年度末に対して12百万円減少し、6,896百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ3.2ポイント減少し、52.0%となりました。

#### （3）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

#### （4）研究開発活動

該当事項はありません。

#### （5）事業等のリスクに記載した重要事象等についての分析・検討内容及び解消、改善するための対応策

当社グループは、厳しい経済環境下で予測される消費行動の変化に適切に対応し、グループ業績の安定的な黒字体制を確実なものとするため、以下の各課題に取り組んでまいります。

##### 中期経営計画推進による成長戦略の展開

- ・ レグウェア事業の新規販路シェアの拡大と既存販路深耕
  - ・ インターネット通販事業の拡大と収益力強化
  - ・ グループ内での直買製販一貫連携による収益力強化
- 株式会社ナイガイ・イムの抜本的事業構造改革による収支バランスの改善
- ・ 展開ブランドの集約による事業効率の改善
  - ・ SCMの再構築による効率的な生産調達体制の確立
  - ・ 販売ルート拡大による在庫削減
- 2013年度を起点とする新三カ年計画の策定

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

| 種類   | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 278,000,000 |
| 計    | 278,000,000 |

###### 【発行済株式】

| 種類   | 第3四半期会計期間末<br>現在発行数(株)<br>(平成24年10月31日) | 提出日現在発行数(株)<br>(平成24年12月14日) | 上場金融商品取引所名<br>又は登録認可金融商品<br>取引業協会名 | 内容              |
|------|---|------------------------------|------------------------------------|-----------------|
| 普通株式 | 78,281,815                              | 78,281,815                   | 東京証券取引所<br>(市場第一部)                 | 単元株式数<br>1,000株 |
| 計    | 78,281,815                              | 78,281,815                   | -                                  | -               |

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日                       | 発行済株式<br>総数増減数<br>(株) | 発行済株式<br>総数残高<br>(株) | 資本金増減額<br>(百万円) | 資本金残高<br>(百万円) | 資本準備金<br>増減額<br>(百万円) | 資本準備金<br>残高<br>(百万円) |
|---------------------------|-----------------------|----------------------|-----------------|----------------|-----------------------|----------------------|
| 平成24年8月1日～<br>平成24年10月31日 |                       | 78,281,815           |                 | 7,592          |                       | 1,898                |

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】  
【発行済株式】

平成24年10月31日現在

| 区分             | 株式数(株)          | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-----------------|----------|----|
| 無議決権株式         | -               | -        | -  |
| 議決権制限株式(自己株式等) | -               | -        | -  |
| 議決権制限株式(その他)   | -               | -        | -  |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 4,372,000  | -        | -  |
| 完全議決権株式(その他)   | 普通株式 73,264,000 | 73,264   | -  |
| 単元未満株式         | 普通株式 645,815    | -        | -  |
| 発行済株式総数        | 78,281,815      | -        | -  |
| 総株主の議決権        | -               | 73,264   | -  |

【自己株式等】

平成24年10月31日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所           | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|------------|------------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| 株式会社ナイガイ   | 東京都台東区柳橋二丁目19番6号 | 4,252,000    | -            | 4,252,000   | 5.43                   |
| 株式会社ウメダニット | 新潟県五泉市今泉137      | 120,000      | -            | 120,000     | 0.15                   |
| 計          | -                | 4,372,000    | -            | 4,372,000   | 5.58                   |

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成24年8月1日から平成24年10月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年2月1日から平成24年10月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。



1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

|             | 前連結会計年度<br>(平成24年1月31日) | 当第3四半期連結会計期間<br>(平成24年10月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| <b>資産の部</b> |                         |                               |
| 流動資産        |                         |                               |
| 現金及び預金      | 3,318                   | 3,689                         |
| 受取手形及び売掛金   | 3,261                   | 3,061                         |
| 商品及び製品      | 2,901                   | 3,546                         |
| 仕掛品         | 9                       | 16                            |
| 原材料及び貯蔵品    | 86                      | 80                            |
| その他         | 358                     | 251                           |
| 貸倒引当金       | 37                      | 31                            |
| 流動資産合計      | 9,898                   | 10,614                        |
| 固定資産        |                         |                               |
| 有形固定資産      |                         |                               |
| 建物及び構築物(純額) | 58                      | 52                            |
| 土地          | 58                      | 59                            |
| その他(純額)     | 93                      | 140                           |
| 有形固定資産合計    | 209                     | 253                           |
| 無形固定資産      |                         |                               |
| 投資その他の資産    | 291                     | 359                           |
| 投資有価証券      | 1,856                   | 1,808                         |
| その他         | 291                     | 249                           |
| 貸倒引当金       | 54                      | 43                            |
| 投資その他の資産合計  | 2,093                   | 2,013                         |
| 固定資産合計      | 2,594                   | 2,626                         |
| 資産合計        | 12,493                  | 13,240                        |

(単位：百万円)

|               | 前連結会計年度<br>(平成24年1月31日) | 当第3四半期連結会計期間<br>(平成24年10月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| <b>負債の部</b>   |                         |                               |
| 流動負債          |                         |                               |
| 支払手形及び買掛金     | 2,081                   | 2,207                         |
| 短期借入金         | 1,245                   | 1,846                         |
| 未払法人税等        | 39                      | 46                            |
| 賞与引当金         | 29                      | 77                            |
| 返品調整引当金       | 354                     | 223                           |
| その他           | 625                     | 573                           |
| 流動負債合計        | 4,376                   | 4,975                         |
| 固定負債          |                         |                               |
| 長期借入金         | 146                     | 278                           |
| 退職給付引当金       | 926                     | 965                           |
| 繰延税金負債        | 102                     | 91                            |
| その他           | 34                      | 34                            |
| 固定負債合計        | 1,208                   | 1,369                         |
| 負債合計          | 5,584                   | 6,344                         |
| <b>純資産の部</b>  |                         |                               |
| 株主資本          |                         |                               |
| 資本金           | 7,592                   | 7,592                         |
| 資本剰余金         | 6,921                   | 6,921                         |
| 利益剰余金         | 7,086                   | 7,083                         |
| 自己株式          | 460                     | 460                           |
| 株主資本合計        | 6,966                   | 6,969                         |
| その他の包括利益累計額   |                         |                               |
| その他有価証券評価差額金  | 51                      | 63                            |
| 為替換算調整勘定      | 20                      | 27                            |
| その他の包括利益累計額合計 | 72                      | 90                            |
| 少数株主持分        | 14                      | 16                            |
| 純資産合計         | 6,908                   | 6,896                         |
| 負債純資産合計       | 12,493                  | 13,240                        |

( 2 ) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【 四半期連結損益計算書】

【 第 3 四半期連結累計期間】

( 単位 : 百万円 )

|                     | 前第 3 四半期連結累計期間<br>(自 平成23年 2 月 1 日<br>至 平成23年10月31日) | 当第 3 四半期連結累計期間<br>(自 平成24年 2 月 1 日<br>至 平成24年10月31日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高                 | 12,662   | 12,279   |
| 売上原価                | 8,404  | 7,909  |
| 売上総利益               | 4,258  | 4,370  |
| 販売費及び一般管理費          | 4,147  | 4,322  |
| 営業利益                | 110  | 47   |
| 営業外収益               |  |  |
| 受取利息                | 0  | 1  |
| 受取配当金               | 18   | 20   |
| 受取保険金               | 15   | -  |
| 為替差益                | -  | 8  |
| その他                 | 25   | 17   |
| 営業外収益合計             | 59   | 48   |
| 営業外費用               |  |  |
| 支払利息                | 22   | 33   |
| 持分法による投資損失          | 30   | 26   |
| 為替差損                | 49   | -  |
| その他                 | 15   | 11   |
| 営業外費用合計             | 118  | 71   |
| 経常利益                | 51   | 24   |
| 特別利益                |  |  |
| 固定資産売却益             | 6  | -  |
| 特別利益合計              | 6  | -  |
| 特別損失                |  |  |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 13   | -  |
| その他                 | 0  | -  |
| 特別損失合計              | 13   | -  |
| 税金等調整前四半期純利益        | 44   | 24   |
| 法人税、住民税及び事業税        | 19   | 20   |
| 法人税等調整額             | 7  | 0  |
| 法人税等合計              | 27   | 19   |
| 少数株主損益調整前四半期純利益     | 16   | 5  |
| 少数株主利益              | 1  | 1  |
| 四半期純利益              | 14   | 3  |

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

|                  | 前第3四半期連結累計期間<br>(自平成23年2月1日<br>至平成23年10月31日) | 当第3四半期連結累計期間<br>(自平成24年2月1日<br>至平成24年10月31日) |
|------------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益  | 16   | 5  |
| その他の包括利益         |  |  |
| その他有価証券評価差額金     | 159  | 19   |
| 為替換算調整勘定         | 15   | 14   |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 5  | 8  |
| その他の包括利益合計       | 168  | 25   |
| 四半期包括利益          | 152  | 19   |
| (内訳)             |  |  |
| 親会社株主に係る四半期包括利益  | 153  | 21   |
| 少数株主に係る四半期包括利益   | 1  | 1  |

【追加情報】

|  |
|--|
| 当第3四半期連結累計期間<br>(自 平成24年2月1日<br>至 平成24年10月31日)   |
| (会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)<br>第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。 |

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

|       | 前第3四半期連結累計期間<br>(自 平成23年2月1日<br>至 平成23年10月31日) | 当第3四半期連結累計期間<br>(自 平成24年2月1日<br>至 平成24年10月31日) |
|-------|--|--|
| 減価償却費 | 27百万円  | 61百万円  |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年2月1日 至 平成23年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

|                       | 報告セグメント |            | 合計     | 調整額<br>(注)1 | 四半期連結損益<br>計算書計上額<br>(注)2 |
|-----------------------|---------|------------|--------|-------------|---------------------------|
|                       | 卸売り事業   | 通信販売<br>事業 |        |             |                           |
| 売上高                   |         |            |        |             |                           |
| 外部顧客への売上高             | 9,206   | 3,455      | 12,662 | -           | 12,662                    |
| セグメント間の内部売上高又は<br>振替高 | 379     | -          | 379    | 379         | -                         |
| 計                     | 9,586   | 3,455      | 13,042 | 379         | 12,662                    |
| セグメント利益又は損失( )        | 205     | 90         | 115    | 5           | 110                       |

(注)1. 調整額はセグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年2月1日至平成24年10月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

|                       | 報告セグメント |            | 合計     | 調整額<br>(注)1 | 四半期連結損益<br>計算書計上額<br>(注)2 |
|-----------------------|---------|------------|--------|-------------|---------------------------|
|                       | 卸売り事業   | 通信販売<br>事業 |        |             |                           |
| 売上高                   |         |            |        |             |                           |
| 外部顧客への売上高             | 9,268   | 3,011      | 12,279 | -           | 12,279                    |
| セグメント間の内部売上高又は<br>振替高 | 106     | 1          | 108    | 108         | -                         |
| 計                     | 9,374   | 3,012      | 12,387 | 108         | 12,279                    |
| セグメント利益又は損失( )        | 182     | 132        | 49     | 1           | 47                        |

(注)1. 調整額はセグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

|                      | 前第3四半期連結累計期間<br>(自平成23年2月1日<br>至平成23年10月31日) | 当第3四半期連結累計期間<br>(自平成24年2月1日<br>至平成24年10月31日) |
|----------------------|--|--|
| 1株当たり四半期純利益金額        | 0円20銭  | 0円05銭  |
| (算定上の基礎)             |  |  |
| 四半期純利益金額(百万円)        | 14   | 3  |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円)    | -  | -  |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(百万円) | 14   | 3  |
| 普通株式の期中平均株式数(株)      | 74,013,601                                   | 74,002,936                                   |

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年12月11日

株式会社ナイガイ  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 山田 努 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 小林 弘幸 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ナイガイの平成24年2月1日から平成25年1月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成24年8月1日から平成24年10月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年2月1日から平成24年10月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ナイガイ及び連結子会社の平成24年10月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。